

平成27年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 5-2

局・課名： 環境局クリーンセンター管理課

事業名	資源ごみ	事業費(千円)	平成25年度決算額	平成26年度予算額	平成27年度要求額		
					259,514	339,411	327,349
事業概要	<p>【目的】 家庭から分別回収された缶・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属の選別・圧縮等の中間処理を施し、資源として再利用することにより、ごみの排出量、焼却量を削減し、循環型社会を構築していくことを目的とする。</p> <p>【内容】 リサイクルプラザ、畑選別場、東工場一時貯留施設の運営など、分別回収される資源ごみ(缶、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属)の貯留や選別等の中間処理を行う。</p> <p>【今年度要求のポイント】 異物等が混入することにより、適正に排出された資源ごみにまで汚れが付着しリサイクル出来なくなることから、適正な分別排出の周知・理解についての啓発活動を行うとともに、資源ごみの適正選別を行うための施設維持管理に係る予算を要求する。</p>	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
			H27 ~ H30		834,000		
		主な要求内容			(単位:千円)		
		項目	26年度予算	27年度要求額	内容・積算等		
		施設維持管理経費	39,943	42,278	施設修繕、維持管理業務等		
		再資源化処理経費	287,350	283,945	再商品化手数料、選別業務等		
		減量化資源化キャンペーン	970	970	大都市減量化資源化キャンペーン負担金		
		塵芥車両購入費	11,016	0			
		その他	132	156			
		合計			339,411	327,349	
スケジュール(経過及び今後展開)							
【経過(～26年度)】 缶・びんに加えペットボトル・プラスチック製容器包装・小型金属の分別収集に伴う中間処理業務を開始する。		【27年度】 老朽化した資源化施設の維持補修や資源物の適正処理を行う。		【今後予定(28年度～)】 引き続き、安定的な中間処理及び適切な施設の維持補修を実施する。			
その他 特記事項							
みんなの審査会対象外							

整理番号： 10 - 3 - 0230